

北里大学校歌 生命の北辰

黛まどか 作詞
千住 明 作曲

あかるい 晴告げる産声は 牧場を渡る風に乗り
ああ北里は 生命の北辰 生命の北辰

あまたの星を従えて 朝な夕なに とこしえに

ああ北里は 耀く北辰 天地統べて 雨に照る目に
あまたの星を従えて 朝な夕なに とこしえに

ああ北里は 耀く北辰 天地統べて 揺るぎなし

紺青尽くす天穹に ひとつの星を探すこと
白金の地にひたすらに 学祖が追求めし医の真髄
安寧の世を築くため もと
雷のこと 貫いて
拓きし道を 歩む我らぞ

この学び舎に励みしを 風雪に堪えいつの日か

月桂冠を戴きて 未来につないでゆく睿智

その絶巔を極めんと

世に捧げるを 報恩とせり

切磋琢磨の 実学を

世に捧げるを 報恩とせり

北里大学校歌
生命の北辰